

芝山町社協だより



まごろの輪

VOL.80

やったー
売り切れだー



11月11日、芝山はにわ祭りで福祉作業所はブースを構え、自主作品などの販売を行いました。

所員の呼び込みの声に多くの人が足を止め、手作り石けんやそうきんなどが午前中で完売。「やったー、売り切れだー」の声に所員みんなが自然に拍手、充実感を味わいました。

今号の特集

- ・給食サービスのしくみ
- ・日常生活自立支援事業とは



多くの方に支えられて

ひとり暮らしの高齢者や、高齢者だけで暮らす方を対象に、1食300円で月2回、夕食のおかずをお届けする給食サービス。町社協と地区社協が協力して行っているこの事業には、多くのボランティアの協力で行われています。今回は給食サービスがどのように行われているかを紹介します。

食材準備



安全・安心な食材で

購入する食材は産地に気を付けながら注文、買物協力員がお店から福祉センターに届けてくれます。また、さすが芝山町は農家どころ。給食サービスには、たくさんの方から多くの食材をいただきあおむ。

調理



給食サービスのしくみ





(3)

みんなでみんなのしあわせを!!

平成24年12月1日発行



配 食



給食委員と町栄養士が旬の味覚と栄養価を考慮したメニューを、調理協力員がじやかに楽しく調理していきます。「()はちょっと長めに煮て、細かく切ったほうが食べやすいよね」衛生面に気を付けるにはもちろん、食べやすさも考えて調理を進めていきます。

「〇〇さん、給食サービスです」

配食は、毎回地区社協区ごとにそれぞれの地区的協力員が担当しています。「ちょっとお話を長くなっちゃって…今、配食終わりました。みなさんお元気でしたよ。」と町社協に配食終了と利用者の状況を報告して、おひさしと元気です。

調理・配食協力員を募集しています。興味のある方はぜひご応募ください。

給食サービスに関するお問い合わせは、芝山町社会福祉協議会（☎78-0850）または地区の給食委員・地区社協委員までご連絡ください。

利用者のことを考えながら



あなたの暮らしの “安心”をお手伝い

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（旧称・地域福祉権利擁護事業）をご存知ですか？

この事業は、日常に不安を感じている高齢者や障害者に、有料で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理をお手伝いし、安心して暮らしていくだけのよう支援するものです

どんな人が利用できるの？

判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など）、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、意思表示を本人のみでは適切に行なうことが困難な方）で、日常生活自立支援事業の契約内容について判断できる能力があると認められる方が、この事業を利用できます。

例えば、福祉サービスを使いたいが、どうすればいいかわからぬい方、介護保険関係の書類がたくさんくるけど、どう手続きしたらいいかわからない方

- ・計画的にお金を使いたいけど、いつも迷ってしまう方
- ・最近物忘れが多くて預金通帳をちゃんとしまったか、いつも心配な方
- ・福祉サービスの利用、その他日常生活上のさまざまなお契約をするときに、自分ひとりで判断するには不安がある、預金の出し入れや日常生活に必要な公共料金などの支払い方がわからないといったことでお困りの方は是非ご相談ください。

また、福祉施設や病院に入所、入院した場合でも利用できます。

どんなサービスがあるの？

- ・福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いします（福祉サービス利用援助）
- ・さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談
- ・福祉サービスの利用における申し込み、契約の代行、代理
- ・入所、入院している施設や病院のサービスや利用に関する相談
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの支援
- ・毎日の暮らしに欠かせない、お金の出し入れをお手伝いします（財産管理サービス）
- ・福祉サービスの利用料金の支払い代行
- ・病院への医療費の支払いの手続き
- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払いの手続き
- ・日用品購入の代金支払いの手続き
- ・預金の出し入れ、また預金の解約の手続き
- ・大切な通帳や証書などを安全な場所でお預かりします（財産保全サービス）
- ・保管を希望される通帳やハンコ、証書などの書類をお預かりします。
- ※宝石、書画、骨董品、貴金属類、株券、有価証券などはお預かりできません。



(5)

みんなでみんなのしあわせを!!

平成24年12月1日発行

どうしたら利用できるの？

①相談の受付

①相談の受付
社会福祉協議会（☎78-1085）に連絡してください

③契約書、支援計画の作成
お困りのことを一緒に考え、
支援計画をつくります

②相談・打ち合わせ

本人以外でも、家族など身近な方、行政の窓口、地域包括支援センター、民生委員、介護支援専門員や在宅福祉サービス事業者などを通じてお問い合わせにも対応します。

②相談・打ち合わせ
担当者がうかがいます

困っていることや希望をお聞きして、どのようなお手伝いをどれくらいの頻度で行うかなどをご本人といっしょに考えます。その後、契約内容・支援計画を提案します。

④契約

④契約
契約内容に間違いがなければ、ご利用者と社会福祉協議会などが利用契約を結びます。

⑤サービス開始

⑤サービスの開始
サービスが開始されます
支援計画にそって、担当者（生活支援員）がサービスを提供します。

さんむ広域後見支援センターの専門的な知識を持つ担当者（専門員）が自宅や施設、病院などを訪問し、相談になります。相談にあたつては、プライバシーに配慮し、秘密は必ず守ります。気軽に相談してください。

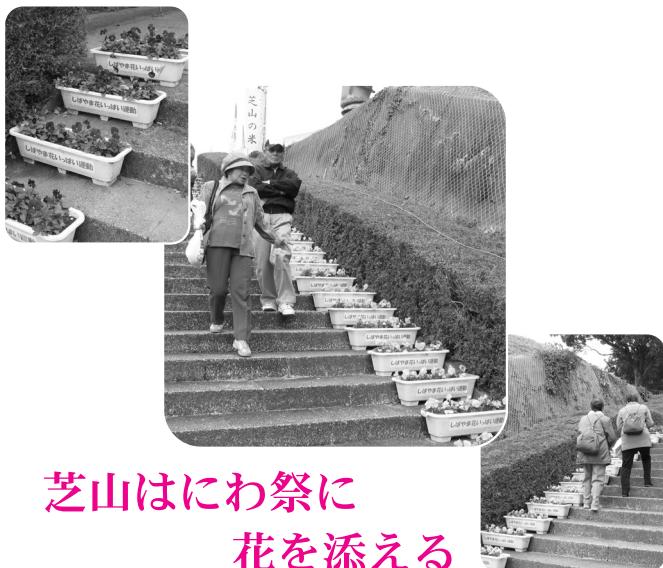
サービスの利用料は？

相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。福祉サービス利用手続き、金銭管理などのサービスを利用する際は料金がかかります。

利 用 料(生活保護世帯は無料)

	時 間	単 価
福祉サービス 利用援助	1時間未満	500円
	1時間以上 1時間30分未満	1,000円
	1時間30分以上 2時間未満	1,500円
	以降、同様に30分毎に500円加算	
生活支援員の 交通費 (月額)	30分未満	無 料
	30分以上 1時間未満	500円
	1時間以上 (但し1回の上限 は1,000円)	1,000円
	年 会 費	3,600円(年額)
財産保全サービス		3,000円(年額)

この制度を利用できる方は「判断能力が不十分な方」で、かつ日常生活自立支援事業の契約内容について判断できる能力があると認められる方」——なんだか矛盾しているような条件ですが、契約内容や利用者本人の判断能力等の確認を行う「契約締結審査会」および適性な運営を確保するための監督を行つ第三者的機関である「運営適正化委員会」が設置されていますので、利用者が安心して利用できる仕組みとなっています。
相談は、芝山町社会福祉協議会（☎78-10850）またはさんむ広域後見支援センター（☎0475-82-7111）にお気軽にご相談ください。



芝山はにわ祭に 花を添える

▲11月11日に芝山公園で行われた芝山はにわ祭。メインステージを見下ろすテラスに続く階段の両脇に飾られた、色とりどりのパンジーや葉牡丹。多くの方が足を止めて花を見ていました。これは「しばやま花いっぱい運動推進委員会」が毎年行っているもの。まさに“祭に花を添える”活動ですね。

※はにわ台南の吉岡順子さんが、東日本大震災の被災地に手芸品のお地蔵様を贈る活動をしているとお聞きし、ご本人に寄稿していただきました。

▶東日本大震災のあと、90歳を過ぎた身に出来ることとして、小さなお地蔵様を手作りして被災された方々に送ろうと、身近に被災された方などに友人を介して贈つてありました。

福島の父母の菩提寺も被災し、郡山に避難されているご住職が、亡くなられた方々の為お施餓鬼をされる事となりました。そこでお地蔵様を贈りたいと願い、第1回に50体、続けて30体を贈る事が出来ました。これからも出来る限り送りたいと思っています。

ふくし 街角 コレクション

みなさんの身近にあった“ちょっといい話”をお寄せいただきましてありがとうございました。これからも地域の中や家庭で見かけた・起こった“ちょっといい話”をお聞かせください。

お地蔵様に 祈りを託して



気合いの練習 実を結ぶ

◀小池の番ペタンククラブ（大木幸子代表、クラブ員の人）は毎週木曜日楽しく、気合いの入った練習を10年以上続けています。その成果があり町大会で1位、3位に入賞しました。入賞チームは郡大会に出場します。一方成田のペタンク協会に加入しており年3～4回、試合にも積極的に参加しています。



食を通して



おいしいものを食べると、自然と笑みがこぼれます。食べることは、命の源です。健康新に過ぎずためにも、食は欠かせません。

「食」という字は、人に良いと書きます。人を良くする」とを育む、食を大切にすることで、豊かな人間性を育み、生きる力が養われると言われています。「これを、「食育」といふそうです。

教育の出発点は、家庭から。食べる事を通して、おいしさ、楽しい、うれしいと感じられることが大切です。

食事は家族そろって食べられる事で良いですね。みんなと一緒に食べながら、その口あつた、楽しかったことなど、どんなことでも話をすると、家族のコミュニケーションが図れます。みんなが一緒に楽しいし、おいしい。それがより家族の絆につながっていくのではないか。食事をしながら、子どもの顔色が悪い、元気がないという気づきがあれば、「どうした

あなた食卓は、「いたまきます」「いたまきます」のあいさつ、箸の正しい持ち方や、食事のマナーなどを学ぶ場もあります。食べ物の好き嫌いをなくし、何でも食べられるように、幼少期からバランスのとれた食事に気をつけることも大事です。

そして、朝食は一日を元気に過ごすための活力です。朝食を取りないと、体も頭も心も十分に働きません。たとえおにぎり一個でも、朝食を食べる習慣を身につけたいですね。

まもなく受験シーズン到来です。これから高等学校や大学などを受験するみなさん、入学金や学校に通つたための「お



教育支援資金貸付制度

まもなく受験シーズン到来です。これから高等学校や大学などを受験するみなさん、入学金や学校に通つたための「お

金」、大丈夫ですか？ 千葉県社会福祉協議会には、低所得世帯を対象に、入学に必要な経費や修学に必要な経費をお貸しする教育支援資金貸付制度があります。

ただし、この制度は申請や審査などに時間がかかります。受験が決まった時県から相談・仮申請をすればことができますので、早めにご相談ください。制度の詳細については、町社会福祉協議会にお問い合わせください。

☎ 043-605-0110

いんぶおめーしょん

敬老会に477名の参加

平成24年度敬老会が9月16日に芝山文化センターで開催されました。

本年度の70歳以上の敬老者

1、632名です。

式典では、敬老者を代表して松本セツ子さん（中谷津）に、結婚50周年を迎えた28組のご夫婦を代表して青木幹男さん・妙子さんご夫妻（川津）に、それぞれ記念品が贈呈されたほか、土屋隆さん（大

台宿）が謝辞を行いました。

式典に続いて、「メディマジックやめおと楽団、竜小太郎の歌と舞踊ショーが行われ、敬老会に出席した477名の敬老者がアトラクションを楽しみました。

また、敬老会開催に際しては、各区長をはじめ、関係者に多大なるご協力をいただきました。

災害時における障害のある人への支援について考えるフォーラム開催

12月16日(日)10時30分から16時まで、県教育会館(千葉市中央区中央4-13-10)で災害時における障害のある人への支援について考えるフォーラムが開催されます。

詳しくは、県健康福祉部障害福祉課企画調整班(☎ 043-223-4133)にお問い合わせください。

社会福祉法人芝山町社会福祉協議会

職員募集

①一般事務職 1名 ②ホームヘルパー職 1名

應募資格

①昭和59年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた、高校卒業以上または卒業見込みの方で、社会福祉士又は社会福祉主任用資格を有する方及び就職後資格取得する意欲のある方。②普通自動車免許

②昭和32年4月2日以降に生まれた、家事援助等介護保険外のホームヘルプサービスを提供できる方で、学歴を問わない。■ホームヘルパー2級以上・■普通自動車免許・経験者歓迎

受付期間 平成24年12月10日(月)～平成25年1月18日(金)

試験日 平成25年2月上旬

試驗內容 一般教養、作文、面接

応募・問合せ・芝山町社会福祉協議会 ☎78-0850

ふくし行事予定

- (12月) 1日から 歳末たすけあい運動開始
1日 まごころの輪80号発行
4日 ミニ・デイサービス
// 身体障害者ミニ・デイサービス
4、20日 給食サービス

(1月) 8日 ミニ・デイサービス
8、24日 給食サービス
23日 身体障害者ミニ・デイサービス

(2月) 1日 ミニ・デイサービス
// おとこの料理教室
3日 ひとり暮らし高齢者・身体障害者
新春寄席招待会
5、21日 給食サービス

毎月上旬 ひとり暮らし高齢者誕生日祝い
毎月中旬 目の不自由な方へ声の広報紙発行

弁護士法律相談予定

福祉センターにおいて弁護士による無料相談を行っています。相談は1名30分です。予定日は

12月18日㈫、1月29日㈫、2月26日㈫
です。利用希望の方は事前予約が必要です。

（）くし駆け込みテレホン…☎78-0526

▼ 原口芳隆様（小池） 3,000円

▼ 加山ケンヂ「ゴルフクラブ」様 5,000円

▼ 「畠の田」「畠の句間」記念事業成田地区実行委員会様 8,000円

手まつの会様 6,400円

▼ 芝山町商工会女性部様 10,400円

匿名様 30,000円

匿名様 5,000円

▼匿名様 7、107田
▼吉田洋子様（はにわ台南）
匿名様 手芸用布地多數
匿名様 松本セツ子様（中谷津） 給食サービス食材多數
▼花と緑の農芸財団様 園芸用花苗多數
お寄せいただいたご净財は、趣旨に沿い地域の福祉のために活用させていただきます。
また、11月11日、はにわ祭会場の社会福祉協議会ブースで、福祉バザーと福祉作業所の自主作品販売を行いました。ハザーピンをご寄付いただき、みなさまは次のの方々です。

▼匿名様 手芸制作品多數
▼五木田昇様（新井田） バザー用品多數
▼平岡明様（大台西） ウコン多數
▼手まりの会様 手まり多數
▼社英二様（小池6） 乾物多數
▼五木田治巳様（芝山） ゆず多數
また、千葉県共同募金会井山町支会に募金をいただきました。
した。
▼川津場地区あたらしいおひづくり推進協議会様

カリ?持つていたコップを思わず置いてしまった。 石松 小久保裕紀さん。心すべき要件は「あいさつ、感謝」。勝負の世界で生きてきた人の言動には深みがある。 ▼大震災の現地は芝山町では考えられない状態でした。お互い助け分け合って、絆を大事に将来を見すえて頑張りましょう。 竹の子 ▼ノーベル賞受賞の山中教授は、実際の医療には異なる研究が必要とのことだが、手立てのなかつた難病患者に夢と希望を与えたね。

▼出羽三山神社正式昇殿参拜をした。湯殿山では素足で参拝し、羽黒山では山伏の案内で川頂まで246段登り祈祷を受け、良い体験をした。**旅子**

▼東日本被災地を視察し、専任のガイドさんの話を聞き、現況の違いに驚き、復興の遅いのに愕然とした。早い復旧復興を願いたい。

マリモ

▼6歳の孫に突然「じいちゃん長生きしてね」と言われた。うれしい反面、ちょっとガツ

編集後記